

## 平成 29 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 29 年 10 月 14 日（土）

開会：午前 10 時 00 分 閉会：午前 11 時 00 分

場所：大木集落センター

参加者：男 40 人、女 14 人 計 54 人（うち職員 5 人）

町職員：町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、政策課員

### ○懇談

男性（1） ネオポリスのことを上の人、この辺の人のことを下の人、というのを行政からも聞いたことがあるんです。昔と比べてそんなことは減っていると思うんですけど、いまだにそんなことを聞くことがあるんで、その辺町長どう思っているか聞きたいんです。

町長 多分ですけど、ネオポリスは山の高いところにあるから上、こちらは土地が低いところにあるから下、というのかなと思いますけど、我々は今は笹尾・城山地区とか神田地区とか学校区で呼ぶことがほとんどです。とはいえいまだに上、下とか、あるいは山とか言うにも聞きますけど、割と少なくなっていると思います。

男性（1） 川のかみしもとかはこちらにもありますが、上、下というのは酷いと思いますので行政は気をつけて欲しいと思います。

男性（2） 農業の話で、ブルーベリーとかぶどうの話がありましたが、専門家とか入ってやっているのでしょうか。設備投資までして失敗ではいけないですね。

建設部参事 3 年前から町が主体でやりだしまして、今現在指導して頂いている先生がいらっしゃいます。若い農業者や農業法人に引き継いでいこう、拡大していこうと思っていますが、当然これまで農業をしていた方々は、園芸作物を作ったことがありませんので、そこについてはしっかりと先生についていただきます。それには我々行政もしっかりとバックアップをしていきたいと考えています。

せっかくなので大豆についても少しお話させて頂きます。いま豆乳を使った製品を考えています。この豆乳をつくる過程では必ずおからがでます。おからが出ますとほとんどは産業廃棄物として破棄されます。しかし我々が今考えているのはおからが出ない製法です。大豆を丸ごと使って豆乳を作り、そこから加工して製品を作ります。大豆の栄養素が丸々入った製品を売り出していこうということです。この製品は今四日市市の企業で実際に国内外で売り出されています。しかし、まだまだ全国的に知られてはいません。これを東員町で作った新しい品種の大豆で売り出していこうと考えておりますのでよろしく願いいたします。

町長 今スーパーで豆腐一丁 50 円くらいだと思います。しかし、この豆腐は 1 丁 300 円以上で売れます。その分農家は儲かります。今参事から新しい品種という話がありましたが、付加価値のある大豆というのがあります。例えば、中性脂肪をぐっと抑える大豆だとか、そういうものがあります。そういった付加価値をつければもっと高く売れます。これが高く売れば、作っている農家が儲かります。そういった仕組みをこれから作っていきます。頑張りますのでよろしくお願いいたします。

男性（3） 大豆が生えないときに、トラクターでぶわあーとつぶすとかしている人にどうやって指導しますか。

建設部参事 実際にそんなことも行われています。これは、一回大豆をまけば収穫できなくても補助金がもらえます。この農業はいずれ終わります。国も多額の借金があり、こんな農業に補助金をだすほど甘い財政ではありません。今現在も国はこの農業を変えようとしております。ですから、近い将来作り捨てのような農業では補助金はもらえなくなります。最近では補助金ではなく、自分達で儲けようという農業に変わってきています。それは、農業だけでなく地方行政もそうで、国にお金がないので、行政自ら自分達が考えてお金儲けをなささい、こういう風になってきていますので、今のうちに手をうっていこうというのが、農業を核とした新しいまちづくりでございます。

男性（4） 農業の内容は大豆とかぶどうとか聞きましたが、若者とか高齢者とか年代的にはどうとかいうのは、計画はあるんですか。

建設部参事 町内の 29 の担い手農家も随分高齢化していて、10 年先も分からない状態です。その理由というのが、補助金に頼った儲からない農業をしていて、若い人からみて魅力がない、ということですので、農業を産業化する、農業で立派に儲けられる、雇用を生むというような農業を目指す必要がありますので、当然我々のターゲットとしては若い世代です。この若いというのが何歳までか、というのはなかなか難しいですが、まずは、我々の考え方、これからの農業をしっかりと考えられる方を中心にやっていきます。今 70 歳を過ぎて認定農業者をやられている方もお見えですが、この方達にお願いをしても次がないと考えていまして、今農業をやっていないくても農業に興味を持って真剣に農業に取り組まれる方であれば、新しい農業就労者として育てていきたいと思っています。

町長 今何人か若い人の芽が出てきているんです。その人たちには、これからは農業はチャンスですよと言っています。そういう人たちと一緒にやっていく。我々はその人たちにもっと儲けろと言っています。上手いことモデルケースになれば、若い人が農業はこんなに儲かるのかとなってもっと就農してくれると思うんです。それを

我々は目指していきたいと思っています。

男性（５） 広報とかでも見ましたが、東員第一中学校の校舎の老朽化の問題で、いつ頃移転するかお聞きしたいと思います。

町長 東員第一中学校の移転に関しては、小中学校適正規模適正配置検討委員会で今の場所では偏在しているので移動しなさいと言われていたので、それを受けまして今年度検討委員会で検討をしています。東員町の真ん中、役場の周辺ぐらいにもってこれたらという方向で検討していますが、結論は今年度中に出します。そうしましたら、平成 32、33 年度には具体的に動き出すと思います。実際に校舎が建つのはしばらく先の話になります。大まかなスケジュールで申し訳ありませんが、そのようなスケジュールで進めていきたいと考えております。

#### ・懇談による意見

1. 団地、在来地区の呼称について
2. 新しい農業について
3. 東員第一中学校の移転時期について